

在日本朝鮮民主女性同盟からのメッセージ

「こども基本法」に基づき朝鮮学校に「無償化」制度を適用せよ！

在日本朝鮮民主女性同盟中央本部

3・8国際婦人デー東京集会にお集まりの皆様に連帯のごあいさつをお送りいたします。今年、日本の敗戦から80年、わたしたちは祖国解放80年を迎えます。わたしたちは1945年の解放直後に女性の権利と平等をかかげ、同胞女性と子どもたちの未来のために組織を結成しました。1947年10月です。

わたしたちは相互扶助の精神で互いに助け合い、植民地時代に奪われた民族の文字や歴史、文化そして朝鮮人としての誇りを取り戻すために日本各地に国語講習所をつくり、朝鮮学校を建てました。そして子どもたちの教育のために心血を注いでまいりました。

しかし、日本政府は戦後一貫してマスメディアを駆使し排外主義を煽り、朝鮮学校の民族教育を弾圧しました。「高校無償化」からの排除、「幼保無償化」からの排除、地方自治体の補助金まで圧力を加えて排除しようとしています。朝鮮学校だけを「無償化」制度や補助金から排除することは、日本政府も批准している「子どもの権利条約」など各種国際人権条約に反しています。

国連は日本政府に対して朝鮮学校に「無償化」制度の適用や補助金の支給を求める勧告を何度も出しています。

2023年4月、こどもの権利条約に基づく「こども基本法」ができました。その第3条は、すべての子どもの基本的人権を保障し、差別的取り扱いを受けることがないようにするとしています。ここでいう「すべての子ども」から朝鮮学校に通う子どもたちははずされていることになります。朝鮮学校差別との矛盾は明らかです。

朝鮮学校の保護者は、ほかの人たちとまったく同じように日本で納税し、国や地方自治体の財政を支えています。にもかかわらず教育は自腹、教育を受ける権利は保障されていません。日本政府は自分たちが誰かの足を「踏んでいる側」にいることは気づいていません。

今、まさに国会では学校無償化について論議が交わされていますが、朝鮮学校こそ対象になるのではないかと思います。わたしたちは朝鮮学校の「無償化」制度適用を求め、朝鮮学校を支援して下さる方々とともに運動を推し進めていきます。

そして各地で培ってきた朝・日の連帯運動をひとつにつなげて発展させるべく、2月8日に結成された「日本と朝鮮を結ぶネットワーク」がかかげる、①日本と朝鮮の国交正常化、②在日朝鮮人の権利確立、③東北アジアの平和構築のために力強く前進していく所存です。

ともに闘いましょう！